

選手よりもアツい感動があった、かもしれない...



うおー！

なんか最高っす

ぱちぱちぱち

ありがとう

パチパチパチ

居酒屋甲子園、終了後
スタッフ全員による
終礼のひとコマ

■ボランティアスタッフは、すべて居酒屋の接客のプロたち。その中に紛れてベン大生たちも参加



↑これが、日本一が決まった瞬間だ！
優勝は、「うまいもん炙り いざかや炎丸 電戸店」さんだった！



↑高橋英樹理事長による閉会の挨拶。
これまでのエピソードが語られ、スタッフの熱い想いが知れた。観客も涙・涙・涙

ベン大・スタッフの活躍シーン



公式バンフ
いかがっすかー！

日本一を決めるプレゼン決勝大会「居酒屋甲子園」へ。 涙と感動あふれるステージ、そのスタッフとして参加する。

“居酒屋から日本を元気に・・・”というスローガンの元、横浜パシフィコ(神奈川県)で今年も「居酒屋甲子園」の決勝大会が開かれた。5回目となる今大会は、広島県福山市に本社がある夢笛の高橋英樹社長が理事長を務められる。ベン大・2期生たちは、高橋理事長のご好意で今年も運営スタッフとしてもぐらせて・・・、いや、手伝わせていただいた。

スタッフも観客も、ほとんどが飲食店関係者ばかり。つまり、接客・サービスのプロの方々なのである。従って、我々が足を引っ張っては絶対にマズい。だから気合十分で望んだ。前日の準備、前夜のプレゼン・リハーサル、朝礼から本番そして終礼まで、丸2日間のフル参加。決勝大会のプレゼンテーションも、仕事の合間合間に観ることが出来た。しかし、何よりの収穫は、この大会を創り上げるまでの1年間という仕込みのスケールの大きさ、経営者と社員たちの本気度、そして運営スタッフ全員のモチベーションの高さを肌で感じる事ができたことである。



皆で描く、ド迫力の朝礼だ！

しまっていこー！

うー がっ



時間が無いぞ

↑前日の資料仕分け
地味ですがこれ大変です。



チェックしまっせ

↑受付のおふたり。観客が最初に
通過するゲート。挨拶が決めた。



居酒屋甲子園グッズ がんばります

バンフや本を売しまっせ！



投票はこちらです

コイン入れてください

↑観客の投票で優勝チームが決まる



有難うございました！

あざっす！

お客様の
お見送り

■学生の感想 本当に感動しました！！
人を楽しませるには、まずは自分が楽しまなければならない！
人を笑顔にするためには、まずは自分が笑顔でいなければならない！
人を元気にするには、まずは自分が元気にいなければならない！
人を感動させるには、まずは自分が感動しなければならない！
『感動はひたすらの努力のあとにある』感動は、本気の行動が生み出すものである！ 感動は真剣に取り組まなければ生まれない！
今回各チームが巻き起こした感動は、全て『実践“できている事”』ばかり。それも1人だけでなく、1人1人の繋がりによる組織という集合体で実践できている。これから商売をやる者として覚えておかなければならないのは、『お客様がいるから私たちがいる』ということである。